本PDFは見本です。出願時には、募集要項冊子をお取り寄せください。

令和８年度

専　攻　科

学生募集要項
入　学　案　内

区　分	出願期間	検 査 日	合格発表
推　薦　選　抜	令和７年４月30日(水) ～５月　２日(金)	５月14日(水)	５月23日(金)
学　力　選　抜	令和７年５月28日(水) ～５月30日(金)	６月14日(土)	６月20日(金)
社会人特別選抜	令和７年10月28日(火) ～10月30日(木)	11月15日(土)	11月　21日(金)

独立行政法人国立高等専門学校機構

小山工業高等専門学校

National Institute of Technology (KOSEN), Oyama College

323-0806　栃木県小山市大字中久喜 771
電　話　0285-20-2141（学生課入試係）
E-Mail　nyushi@oyama-ct.ac.jp
U R L　https://www.oyama-ct.ac.jp

ー 目　　次 ー

入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
Ⅰ　募集定員・・・ 3
Ⅱ　選抜方法・・・ 3
Ⅲ　選抜日程・・・ 3
Ⅳ　推薦による選抜・・・ 4
Ⅴ　学力検査による選抜・・ 7
Ⅵ　社会人特別選抜・・ １１
Ⅶ　その他
　１　入学者選抜に関する合理的配慮の提供に関して　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １４
　２　出願上の注意事項・・・ １４
　３　出願書類に関する個人情報の取り扱い・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １４
　４　受験に際してのお願い・・ １４
　５　入学手続・・・ １５
　６　その他・・ １５

出願書類
　入学願書
　調査書
　卒業研究要旨
　入学検定料「振込受付証明書」貼付票・写真票・受験票（裏面：受験心得）
　推薦書
　承諾書
　振込受付証明書・振込金受取書・振込依頼書

入学検定料の納入方法について

専攻科入学案内　・・・ i
　別表（カリキュラム）　・・・ iv
技術者教育プログラムについて ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ vi

令和８年度

小山工業高等専門学校専攻科学生募集要項

入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

Ⅰ．入学者選抜の基本方針

本校専攻科（複合工学専攻）では、教育方針“技術者である前に人間であれ”を堅持し、地域社会や産業界とともに、21 世紀の国際社会で活躍貢献できる個性と人間性豊かで実践的能力を備えた高度な技術者の育成を目的とし、「求める学生像」に沿って、その能力と適性を有する人材を選抜するため、推薦による選抜、学力検査による選抜及び社会人特別選抜を行います。

推薦による選抜においては、出身学校長が責任を持って推薦した学生で、本校専攻科の教育を受けるのに必要な素養と基礎学力を有した学生を選抜するため、目的意識、意欲、適性などに関してアドミッション・ポリシーに定めた観点にて面接（専門分野の口頭試問を含む）を行い、出身学校長から提出された調査書、推薦書及び TOEIC（IP を含む）スコアの結果を合わせて総合的に評価します。

学力検査による選抜においては、本校専攻科の教育を受けるのに必要な素養と基礎学力を有した学生を選抜するため、目的意識、意欲、適性などに関してアドミッション・ポリシーに定めた観点にて学力検査及び面接を行い、その結果を TOEIC（IP を含む）及び出身学校長又は学長から提出された調査書の結果を合わせて総合的に評価します。学力検査は、数学及び各コースの専門科目を記述方式の試験により評価します。

社会人特別選抜においては、本校専攻科の教育を受けるのに必要な素養と基礎学力を有し、社会人としての業務実績をもとに更なる専門知識の習得に意欲を持つ学生を選抜するため、目的意識、意欲、適性などに関してアドミッション・ポリシーに定めた観点にて小論文、面接（各コースの専門分野の口頭試問を含む）及び TOEIC（IP を含む）スコアの結果を合わせて総合的に評価します。

Ⅱ．求める学生像

次の学力を有し、人間性豊かな人の入学を望みます。

(1) 工学に対する関心が高く、工学についての基礎学力と自然科学についての学力を有し、自ら学ぶ意欲がある人
(2) モノづくりに対する関心が高く、体験してきた人
(3) 学んだことを自らのことばで伝えることのできる日本語の能力及び英語の基礎学力を有している人

各コースの受入れ方針

〇機械工学コース

機械工学に関連する分野の基礎学力を有し、基礎を応用して、より高度な技術を自ら身に付けようとする意欲のある人、専門分野の知識や得られた成果を簡潔に説明・発表できる人

〇電気電子創造工学コース

数学・英語の基礎学力と電気電子の専門基礎学力を有し、電気・電子・情報について自ら学び、その分野を積極的に研究できる人

〇物質工学コース

材料工学や生物工学等の諸分野に関する化学の基礎学力を有し、より高度な専門知識と問題解決能力の修得と自学自習の意欲があり、協調性を持ってチャレンジできる人

〇建築学コース

建築学における、生活に密接に関わる安全・快適な建築物及び居住環境や都市空間について関心があり、これらの分野の基礎学力を有し、自ら学ぶ意欲のある人

教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

1. 準学士課程において培った知識に基づき、より深く高度な自然科学系およびリベラルアーツに関する知識について説明することができ、論理的に結論を導くことができる能力を身につけるために、高度な自然科学系科目およびリベラルアーツ科目を設け、講義、演習を主とした学修方法により展開する。
2. 応用的な事例や課題の解決において解析的に考え、評価できる能力を身につけるために、より深く高度な専門科目を設け、講義、実験、演習を主とした学修方法により展開する。
3. 社会的倫理観・責任感を持ち、他者とのコミュニケーションにより、工学的プロセスをデザインすることができる能力を身につけるためにエンジニアリングデザイン系科目を設け、講義や演習・実験を展開する。
4. 生涯にわたって新たな知識・技術を自ら学ぶ自発的学習ができ、知識・技術を新たな社会へつなぐための創造的活動によって、社会に対して提案できる能力を身につけられるように特別研究や実務研修系科目を設け、学生と指導教員の双方向性を重視した総合的な学修を展開する。

成績評価方法に関する方針

1. 講義科目においては、科目ごとの到達目標を設定し、小テストや課題・レポートなどの平常の取組と定期試験の結果を総合的に勘案し、到達目標に対する到達度を評価する。
2. 実技・実験・実習・演習およびプロジェクトベース科目などの実践的科目においては、課題への取組状況、レポート、発表などを総合的に勘案し、到達目標に対する到達度を評価する。
3. 特別研究においては、研究成果をまとめた論文または制作物、研究発表、取り組み姿勢などを総合的に勘案し、到達目標に対する到達度を評価する。

修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）

育成する人財像

教育理念「技術者である前に人間であれ」に基づき、豊かな人間性を有し、高度な技術力と創意工夫によって社会の発展に貢献する「今を見つめ未来を創る技術者」の育成を目指す。

修了認定の方針

小山工業高等専門学校は、次に掲げる能力を身に付け、小山工業高等専門学校学則で定める修了認定の要件を満たした学生に対して、専攻科の修了を認める。

1. 準学士課程において培った知識に基づき、より深く高度な自然科学系およびリベラルアーツに関する知識について説明することができ、論理的に結論を導くことができる。
2. 準学士課程において培った工学、技術の知識に基づき、より深く高度な工学、技術の専門知識を身に付け、応用的な事例や課題に深く高度な専門知識を用いることができ、専門分野において解析的に考察し評価することができる。
3. 人間・文化・社会を理解し、倫理観・責任感を持ち、自分の意見を論理的に表現できるとともに他者の意見を的確に理解し、周囲の人々と尊重しあいながらコミュニケーションを取ることで、工学的プロセスをデザインすることができる。
4. 生涯にわたって新たな知識・技術を自ら学ぶ自発的学習ができ、知識・技術を新たな社会へつなぐための創造的活動により、社会に対して提案ができる。

Ⅰ　募集定員

専　攻　名	コ　ー　ス　名	人　数
複合工学専攻	機械工学コース	２０名
	電気電子創造工学コース	
	物質工学コース	
	建築学コース	

Ⅱ　選抜方法

区　分	人　数
推　薦　選　抜	特に定めない
学力検査選抜	特に定めない
社会人特別選抜	若　干　名

※入学予定者数が募集定員に満たない場合は、二次募集を行うことがあります。

Ⅲ　選抜日程

区　分	出願期間	検査日	合格発表
推薦選抜	令和７年　４月 30 日（水） ～　５月　２　日（金）	５月 14 日（水）	５月 23 日（金）
学力選抜	令和７年　５月 28 日（水） ～　５月 30 日（金）	６月 14 日（土）	６月 20 日（金）
社会人特別選抜	令和７年　10 月 28 日（火） ～ 10 月 30 日（木）	11 月 15 日（土）	11 月 21 日（金）

Ⅳ 推薦による選抜

出願の前に、学位授与申請及び本校の技術者教育プログラム（募集要項中「専攻科入学案内」viページ「技術者教育プログラムについて」を参照。）に対する学習の適否を判断する必要があります。出願前に予め成績証明書（科目ごとの成績及び修得単位数が証明される書類。）、シラバス又は履修内容を証明したものの提出が必要です。（本校卒業見込者は、シラバス又は履修内容を証明したものの提出は、不要です。）各自、適否を確認してください。

1　出願資格

令和８年３月高等専門学校を卒業見込みの者で、(1) と (2) の両方に該当し、学校長が成績及び人物ともに優れていると認めて推薦する者。

(1) 各学年の学科現員に対する成績の席次割合（%）を算出し、1 学年から 4 学年の席次割合（%）平均が上位 50% 以内の者。

※学科単位で順位を算出することが困難な場合は、コース等学科に準ずるものの現員および順位を用いて計算する。

(2) 合格した場合、本校への入学を確約できる者

2　出願手続

(1) **本校以外の教育機関の出身者は、事前に下記の書類を提出してください。**

単位取得証明書及び成績証明書（点数評価書）

シラバス又は履修内容を証明したもの

提出期限　　令和７年４月１４日（月）

(2) 願書受付

期　　間　　令和７年４月３０日（水）から５月２日（金）
（郵送の場合は、５月２日（金）必着とします。）

時　　間　　９：００から１７：００まで

場　　所　　小山工業高等専門学校　学生課入試係
〒 323-0806　栃木県小山市大字中久喜 771

（注）　郵送の場合は必ず書留郵便とし、封筒の表に「専攻科出願書類在中」と朱書きしてください。

(3) 出願に必要な書類

出願書類等		摘　　要
1	入学願書	本校所定の用紙に必要事項を記入したもの。
2	受験票 写真票	写真は、正面脱帽上半身・無背景（縦 4cm ×横 3cm）で、出願以前 3 か月以内に撮影したものを、所定の位置に貼付してください。
3	調査書	本校所定の用紙により、出身学校長が作成し、厳封したもの。
4	卒業研究要旨	本校所定の用紙により、出願者が作成したもの。

5	推　薦　書	本校所定の用紙により、出身学校長が作成したもの。
6	TOEICスコア	TOEIC（IPを含む）のスコア証明書の原本及び写しを提出してください。ただし、推薦選抜検査日から過去２年以内に取得したスコアを有効とします。なお、原本がないものは認めません。原本は確認後返却します。
7	入学検定料（貼付票）	**16,500円** 本校所定の振込用紙を用い、最寄りの金融機関の受付窓口にて振り込みください。ATM（現金自動預払機）は、使用しないでください。 「振込受付証明書」を受け取る際は、金融機関の押印を確認し、入学検定料振込受付証明書貼付票に貼付してください。 金融機関の押印のないものや貼付票に「振込受付証明書」を貼付していないものは、出願書類を受理できません。
8	受験票送付用封筒	封筒（角２形:240 × 332mm）の表に本人の郵便番号･住所･氏名を記入し、切手（定形外50g以内＋速達、簡易書留郵便料金）を貼付してください。 （出願書類を直接持参する場合は、不要です。）
9	その他	現在、日本国内に在住する外国人は、次の書類を提出してください。 ①市区町村長の発行する「住民票」 ②「在留カード」両面の写し ③「国民健康保険証」等の写し

※上記1,3,4,5の様式は、本校ホームページからダウンロードし、A4判用紙に印刷して作成することも可能です。なお、「1 入学願書」については、必ず自筆で記入してください。

3　選抜方法

入学者の選抜は、面接（専門分野の口頭試問を含む）、出身学校長から提出された調査書、推薦書及びTOEIC(IPを含む)スコアの結果を総合して行います。

4　選抜日程等

令和７年５月１４日（水）

科目等	時　間	場　所
面　接	１３：３０ ～	小山工業高等専門学校

開始20分前までに本校の指定する場所に集合してください。

5　合格発表

令和７年５月２３日（金）　１０：００

本校に掲示するとともに、その合否を出身学校長及び本人に文書で通知します。

（電話等による合否の問い合わせには、一切応じません。）

※　また、同時刻以降に本校ホームページにも掲載しますが、「合格通知書」等により再度、確認願います。

ＵＲＬ　https://www.oyama-ct.ac.jp

6　入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、令和７年５月２８日（水）（必着）までに、「入学確約書」を提出してください。期限までに「入学確約書」を提出しない場合は、本校に入学する意志がないものとして取り扱います。

7　「推薦選抜」に合格しなかった場合の手続き

「推薦選抜」の結果、合格しなかった者で「学力選抜」を希望する場合は、再度、検定料を納入のうえ下記の書類を整え、学力選抜の願書受付期間に手続きを完了してください。

なお、郵送する場合は書留郵便とし、封筒の表に「専攻科出願書類在中」と朱書してください。

出願書類等	摘　　要
1　入学願書	本校所定の用紙に必要事項を記入したもの。
2　受験票 写真票	写真は、正面脱帽上半身・無背景（縦 4cm ×横 3cm）で、出願以前３か月以内に撮影したものを、所定の位置に貼付してください。
3　入学検定料 （貼付票）	**16,500 円** 本校所定の振込用紙を用い、最寄りの金融機関の受付窓口にて振り込みください。ATM（現金自動預払機）は、使用しないでください。 「振込受付証明書」を受け取る際は、金融機関の押印を確認し、入学検定料振込受付証明書貼付票に貼付してください。 金融機関の押印のないものや貼付票に「振込受付証明書」を貼付していないものは、出願書類を受理できません。
4　受験票 送付用封筒	封筒（角２形:240 × 332mm）の表に本人の郵便番号･住所･氏名を記入し、切手（定形外 50g 以内＋速達、簡易書留郵便料金）を貼付してください。 （出願書類を直接持参する場合は、不要です。）

Ⅴ　学力検査による選抜

出願の前に、学位授与申請及び本校の技術者教育プログラム（募集要項中「専攻科入学案内」viページ「技術者教育プログラムについて」を参照）に対する学習の適否を判断する必要があります。出願前に予め成績証明書（科目ごとの成績及び修得単位数が証明される書類）、シラバス又は履修内容を証明したものの提出が必要です。（本校卒業見込者は、シラバス又は履修内容を証明したものの提出は、不要です。）各自、適否を確認してください。

1　出願資格

(1) 高等専門学校を卒業した者（令和８年３月卒業見込みの者を含む。）

(2) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。）の専攻科の課程を修了した者のうち学校教育法第５８条の２（同法第７０条第１項及び第８２条において準用する場合を含む。）の規定により大学に編入することができる者（令和８年３月卒業見込みの者を含む。）

(3) 短期大学を卒業した者（令和８年３月卒業見込みの者を含む。）

(4) 専修学校の専門課程を修了した者のうち学校教育法第１３２条の規定により大学に編入学することができる者（令和８年３月修了見込みの者を含む。）

(5) 外国において、学校教育における１４年の課程を修了した者

(6) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における１４年の課程を修了した者

(7) 我が国において、外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における１４年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

(8) その他本校専攻科が、高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

2　出願手続

(1) **事前に下記の書類を提出してください。<u>（本校卒業見込者は提出不要です。）</u>**

単位取得証明書及び成績証明書（点数評価書）

シラバス又は履修内容を証明したもの

提出期限　　令和７年５月１６日（金）

(2) 願書受付

期　　間　　令和７年５月２８日（水）から５月３０日（金）
（郵送の場合は、５月３０日（金）必着とします。）

時　　間　　９：００から１７：００まで

場　　所　　小山工業高等専門学校　学生課入試係
〒 323-0806　栃木県小山市大字中久喜 771

（注）郵送の場合は必ず書留郵便とし、封筒の表に「専攻科出願書類在中」と朱書きしてください。

(3) 出願に必要な書類

出願書類等	摘　　要
1　入学願書	本校所定の用紙に必要事項を記入したもの。
2　受験票 写真票	写真は、正面脱帽上半身・無背景（縦 4cm ×横 3cm）で、出願以前３か月以内に撮影したものを、所定の位置に貼付してください。
3　卒業証明書等	出身学校長又は学長が作成し、厳封したもの。（令和８年３月卒業見込の者及び本校の卒業者は不要）
4　調査書	本校所定の用紙により、出身学校長又は学長が作成し、厳封したもの。ただし、出願資格(1)により出願する者で、高等学校から高等専門学校に編入学した者については、出身高等学校の調査書も添付してください。出願資格(4)により出願する者は、次の証明書等も併せて提出してください。 ①専修学校が発行する修業年限２年以上で、かつ、修了に必要な総授業時数が 1700 時間以上の専門課程を修了したことを証明する証明書。 ②専修学校の専門課程の学科の分野や履修内容が確認できる書類。 出願資格(5)から(8)により出願する者は、出願資格にかかる最終学校の成績証明書をもって代えます。
5　卒業研究要旨	本校所定の用紙により、出願者が作成したもの。
6　TOEICスコア	TOEIC（IP を含む。）スコアの証明書の原本及び写しを提出してください。ただし、学力選抜検査日から過去２年以内に取得したスコアを有効とします。なお、原本がないものは認めません。原本は、確認後返却します。
7　承諾書	本校所定の用紙により、所属長が作成したもの。（選抜検査に合格し、企業に在職のまま入学を希望する者のみ。）
8　入学検定料（貼付票）	**16,500 円** 本校所定の振込用紙を用い、最寄りの金融機関の受付窓口にて振り込みください。ATM（現金自動預払機）は、使用しないでください。 「振込受付証明書」を受け取る際は、金融機関の押印を確認し、入学検定料振込受付証明書貼付票に貼付してください。 金融機関の押印のないものや貼付票に「振込受付証明書」を貼付していないものは、出願書類を受理できません。
9　受験票送付用封筒	封筒（角２形:240 × 332mm）の表に本人の郵便番号･住所･氏名を記入し、切手（定形外 50g 以内＋速達、簡易書留郵便料金）分を貼付してください。（出願書類を直接持参する場合は、不要です。）
10 その他	現在、日本国内に在住する外国人は、次の書類を提出してください。 ①市区町村長の発行する「住民票」 ②「在留カード」両面の写し ③「国民健康保険証」等の写し

※上記 1,4,5,7 の様式は、本校ホームページからダウンロードし、A4 判用紙に印刷して作成することも可能です。なお、「1 入学願書」については、必ず自筆で記入してください。

3　選 抜 方 法

入学者の選抜は、学力検査、TOEIC（IP を含む）、面接及び出身学校長又は学長から提出された調査書の結果を総合して行います。

4　選抜検査科目、日時及び場所

(1) 学力検査科目

科　　目		出　　題　　分　　野
各コース共通（一般科目）	数　　学	高専数学全般（主に微分積分学、線形代数学、微分方程式）
専門科目	機械工学コース	工業力学（機械力学を含む。）、熱流体力学（熱力学及び水力学）、材料力学
	電気電子創造工学コース	電気磁気学、電気回路、情報工学、電子回路
	物質工学コース	有機化学、無機化学、物理化学、生物化学、化学工学
	建築学コース	建築計画（法規・環境工学を含む。）、建築構造（建築材料含む。）

英語については筆記試験を行わず、出願時に提出された TOEIC（IP を含む）スコアを以下の方法で換算して英語の得点とします。

TOEIC スコアが 300 点未満の場合：

英語の得点　＝　0 点

TOEIC スコアが 300 点以上～ 600 点未満の場合：

英語の得点　＝　英語配点の｛（40 ／ 300）×（TOEIC スコア）＋ 10｝%

TOEIC スコアが 600 点以上～ 900 点未満の場合：

英語の得点　＝　英語配点の｛（10 ／ 300）×（TOEIC スコア）＋ 70｝%

TOEIC スコアが 900 点以上の場合：

英語の得点　＝　英語配点の 100%

(2) 選抜日程等

令和７年６月１４日（土）

科　目　等	時　　間	場　　所
専 門 科 目	９ ：３０～１１：００	小山工業高等専門学校
数　　学	１１：２０～１２：２０	
面　　接	１３：３０～	

開始 20 分前までに本校の指定する場所に集合してください。

5　合 格 発 表

令和７年６月２０日（金）　１０：００

本校に掲示するとともに、合格者本人に文書で通知します。

（電話等による合否の問合せには、一切応じません。）

※　また、同時刻以降に本校ホームページにも掲載します。

ＵＲＬ　https://www.oyama-ct.ac.jp

6　入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、令和７年９月１２日（金）（必着）までに、「入学確約書」を提出してください。期限までに「入学確約書」を提出しない場合は、本校に入学する意志がないものとして取り扱います。

7　その他の注意事項

出題の内容に応じ、関数電卓を貸与します。

Ⅵ　社会人特別選抜

出願の前に、学位授与申請及び本校の技術者教育プログラム（募集要項中「専攻科入学案内」viページ「技術者教育プログラムについて」を参照）に対する学習の適否を判断する必要があります。出願前に予め成績証明書（科目ごとの成績及び修得単位数が証明される書類）、シラバス又は履修内容を証明したものの提出が必要です。各自、適否を確認してください。

1　出願資格

出願時において企業等の在職期間が１年以上ある者で、次のいずれかに該当する者

(1) 高等専門学校を卒業した者

(2) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。）の専攻科の課程を修了した者のうち学校教育法第５８条の２（同法第７０条第１項及び第８２条において準用する場合を含む。）の規定により大学に編入学することができる者

(3) 短期大学を卒業した者

(4) 専修学校の専門課程を修了した者のうち学校教育法第１３２条の規定により大学に編入学することができる者

(5) 外国において、学校教育における１４年の課程を修了した者

(6) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における１４年の課程を修了した者

(7) 我が国において、外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における１４年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

(8) その他本校専攻科が、高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

2　出願手続

(1) **事前に下記の書類を提出してください。**

単位取得証明書及び成績証明書（点数評価書）

シラバス又は履修内容を証明したもの

提出期限　　令和７年１０月１７日（金）

(2) 願書受付

期　　間　　令和７年１０月２８日（火）から１０月３０日（木）
（郵送の場合は、１０月３０日（木）必着とします。）

時　　間　　９：００から１７：００まで

場　　所　　小山工業高等専門学校　学生課入試係
〒 323-0806　栃木県小山市大字中久喜 771

（注）郵送の場合は必ず書留郵便とし、封筒の表に「専攻科出願書類在中」と朱書きしてください。

(3) 出願に必要な書類

出願書類等	摘　　要
1　入学願書	本校所定の用紙に必要事項を記入したもの。
2　受験票 写真票	写真は、正面脱帽上半身・無背景（縦 4cm×横 3cm）で、出願以前 3 か月以内に撮影したものを、所定の位置に貼付してください。
3　卒業証明書等	出身学校長又は学長が作成し、厳封したもの。（本校卒業者は不要）
4　単位取得証明書	出身学校又は短期大学等の所定の用紙により学校長又は学長が作成し、厳封したもの。ただし、出願資格 (1) により出願する者で高等学校から高等専門学校に編入学した者については、出身高等学校の単位取得証明書を添付してください。出願資格 (4) により出願する者は、次の証明書等も併せて提出してください。 ①専修学校が発行する修業年限 2 年以上で、かつ、修了に必要な総授業時数が 1700 時間以上の専門課程を修了したことを証明する証明書 ②専修学校の専門課程の学科の分野や履修内容が確認できる書類出願資格 (5) から (8) により出願する者は、出願資格にかかる最終学校の成績証明書をもって代えます。
5　卒業研究要旨	本校所定の用紙により、出願者が作成したもの。
6　TOEICスコア	TOEIC（IP を含む。）スコアの証明書の原本及び写しを提出してください。ただし、社会人特別選抜検査日から過去２年以内に取得したスコアを有効とします。なお、原本がないものは認めません。原本は、確認後、返却します。
7　承諾書	本校所定の用紙により、所属長が作成したもの。（選抜検査に合格し、企業に在職のまま入学を希望する者のみ。）
8　業績調書	①社会人としての勤務業績等を 600 字以内にまとめたもの。 ②在籍期間を証明するもの。
9　入学検定料（貼付票）	**16,500 円** 本校所定の振込用紙を用い、最寄りの金融機関の受付窓口にて振り込みください。ATM（現金自動預払機）は、使用しないでください。 「振込受付証明書」を受け取る際は、金融機関の押印を確認し、入学検定料振込受付証明書貼付票に貼付してください。 金融機関の押印のないものや貼付票に「振込受付証明書」を貼付していないものは、出願書類を受理できません。
10　受験票送付用封筒	封筒（角２形：240 × 332mm）の表に本人の郵便番号・住所・氏名を記入し、切手（定形外 50g 以内＋速達、簡易書留郵便料金）分を貼付してください。（出願書類を直接持参する場合は、不要です。）
11　その他	現在、日本国内に在住する外国人は、次の書類を提出してください。 ①市区町村長の発行する「住民票」 ②「在留カード」両面の写し ③「国民健康保険証」等の写し

※上記 1,5,7 の様式は、本校ホームページからダウンロードし、A4 判用紙に印刷して作成することも可能です。なお、「1 入学願書」については、必ず自筆で記入してください。

3　選 抜 方 法

入学者の選抜は、小論文、面接（専門分野の口頭試問を含む）及び TOEIC(IP を含む）スコアの結果を総合して行います。

4　選抜日程等

令和７年１１月１５日（土）

科　目　等	時　間	場　所
小　論　文	１３：３０～１４：３０	小山工業高等専門学校
面　接 (専門分野の口頭試問を含む)	１５：００～	

開始 20 分前までに本校の指定する場所に集合してください。

5　合 格 発 表

令和７年１１月２１日（金）１０：００

本校に掲示するとともに、合格者本人に文書で通知します。

（電話等による合否の問合せには、一切応じません。）

※　また、同時刻以降に本校ホームページにも掲載します。

ＵＲＬ　https://www.oyama-ct.ac.jp

6　入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、令和７年１２月１２日（金）（必着）までに、「入学確約書」を提出してください。期限までに「入学確約書」を提出しない場合は、本校に入学する意志がないものとして取り扱います。

Ⅶ　その他

1　入学者選抜に関する合理的配慮の提供に関して

入学者選抜において障害等を理由とした合理的配慮の提供を希望する者は、入学願書提出期限の一か月前を目安に学生課入試係までご相談ください。

なお、合理的配慮の提供には準備に時間がかかることもあるため、願書受付期間を過ぎてからの相談及び申請では、希望する合理的配慮を受けられなくなる可能性がありますので注意してください。

詳しくは、学校ホームページに記載がありますので、ご確認ください。

https://www.oyama-ct.ac.jp/exam/senkouka_admission/

（小山高専ホームページ）

2　出願上の注意事項

(1) 出願書類等の不備なものは受理しません。

(2) 出願書類提出後は、記載事項の変更は一切認めません。

(3) 受理した出願書類及び検定料は、いかなる理由があっても返還しません。

(4) 出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学後においても入学を取り消すことがあります。

(5) 出願者は、出願時にあらかじめ履修を希望するコース名を入学願書の所定の欄に記入してください。その場合履修を希望するコース名は、原則として出身高等専門学校の学科名、カリキュラム分野名と同等もしくは関連のあるコース名を希望することができます。履修を希望するコース名が出身校の学科名、カリキュラム分野名等から判断ができない場合は、本校に問い合わせてください。

3　出願書類に関する個人情報の取り扱い

入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜検査結果等の個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用します。

(1) 入学後の教育・指導

(2) 授業料等諸納金の本校会計事務システムへの登録

(3) 入学料、授業料の免除申請の審査

(4) 奨学金申請の審査

(5) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

小山高専のプライバシーポリシーについては、本校ホームページをご確認ください。

https://www.oyama-ct.ac.jp/information/id/

（小山高専ホームページ 個人情報の取り扱い）

（小山高専ホームページ）

4　受験に際してのお願い

(1) 受験票は、入学願書を受理後、本人に交付又は郵送します。検査当日は、受験票を必ず持参してください。

(2) 出願書類提出後、住所又は合格通知書等の受け取り先を変更したときは、直ちに、本校学生課入試係に受験番号及び氏名を記入のうえ届け出てください。

5　入学手続

(1) 入学手続は、令和８年２月に行い、合格者には、１月中に、別途、通知します。

(2) 本校以外からの合格者は、卒業証明書等を令和８年３月３１日（火）までに学生課入試係に提出（郵送可）してください。

6　その他

募集要項等に関しご不明な点は、次の問い合わせ先にお尋ねください。

〒 323-0806　栃木県小山市大字中久喜 771
小山工業高等専門学校　学生課入試係
電話　０２８５－２０－２１４１
E-Mail　nyushi@oyama-ct.ac.jp

令和８年度小山工業高等専門学校専攻科

入　学　願　書

志望コース	コース		受験番号	※	
ふりがな		男・女	生年月日	平成　　年　　月　　日生	
氏　　名			入学した場合の入寮希望の有無	有　・　無	
ふりがな					
住　　所					
郵便番号	〒　　－	電話番号	（　　）		
在籍又は出身学校	見本 高等専門学校 短期大学 専門学校 （平成・令和　　年　　月　　日　卒業・卒業見込・修了・修了見込）				
学歴及び職歴	平成　　年　　月	中学校卒業			
	自 平成・令和　　年　　月				
	至 平成・令和　　年　　月				
	自 平成・令和　　年　　月				
	至 平成・令和　　年　　月				
	自 平成・令和　　年　　月				
	至 平成・令和　　年　　月				
	自 平成・令和　　年　　月				
	至 平成・令和　　年　　月				
	自 平成・令和　　年　　月				
	至 平成・令和　　年　　月				
勤務先 勤務先所在地	〒　　－ 電話　　（　　）				
合格通知書等を受け取る住所	〒　　－ 電話　　（　　）				

１．※印欄は記入しないこと。その他の欄は楷書で記入してください。
２．学歴及び職歴欄は、中学校卒業から記入してください。
３．勤務先は、企業等に在職のまま入学を志望する者のみ記入してください。

令和８年度小山工業高等専門学校専攻科

調　査　書

志望コース	コース		受験番号	※	
ふりがな		男・女	学校・学科名	高等専門学校 短期大学 専門学校 学科	
氏名 生年月日	平成　年　月　日生				
平成 令和　年　月　日	入学 編入学 転入学		平成 令和　年　月　日	卒業・卒業見込 修了・修了見込	
成績証明書	出身学校所定の用紙を使用し、当該学校長（学長）が作成、厳封したものを添付。修得単位数が明記されているもの。 （成績の評定基準を右表に明示すること。）		評定基準	評定の区分	点数の範囲
					点～　点
					点～　点
					点～　点
					点～　点
					点以下
学科内席次	１年	人中　位	４年	人中　位	
	２年	人中　位	５年	人中　位	
	３年	人中　位			
在学中の状況					

見本

上記のとおり相違ないことを証明する。

令和　年　月　日

学　校　名

校長・学長氏名　　職印

記入上の注意

１．※印欄は記入しないでください。

２．在学中の状況欄は、人物・課外活動・生活態度等を記入してください。

令和８年度小山工業高等専門学校専攻科

卒業研究要旨

<table>
<tr><td>志望コース</td><td colspan="3">コース</td><td>受験番号</td><td>※</td></tr>
<tr><td>ふりがな</td><td colspan="2"></td><td rowspan="2">男
・
女</td><td rowspan="2">学校
・
学科名</td><td rowspan="2">高等専門学校
短期大学
専門学校

学科</td></tr>
<tr><td>氏名
生年月日</td><td>平成　　年　　月　　日生</td><td></td></tr>
<tr><td>卒業研究題目</td><td colspan="5">見本</td></tr>
<tr><td>卒業研究要旨</td><td colspan="5"></td></tr>
<tr><td>指導教員
学科・氏名</td><td colspan="5">学科　　氏名</td></tr>
</table>

記入上の注意

1　※印欄は記入しないでください。

2　要旨は、400字程度にまとめてください。

令和８年度
小山工業高等専門学校専攻科
入学検定料「振込受付証明書」貼付票

志望コース	受　験　番　号
コース	※
(ふりがな) 氏　　名	
生年月日	平成　　年　　月　　日　生

入学検定料

『振込受付証明書』

貼付欄

入学検定料は、金融機関の窓口で振込をしてください。

なお、ＡＴＭ（現金自動預払機）は使用しないでください。

また、金融機関の押印がない場合は、受理できません。

きりはなさないこと

令和８年度
小山工業高等専門学校専攻科

写　真　票

志望コース	受　験　番　号
コース	※
(ふりがな) 氏　　名	
生年月日	平成　　年　　月　　日　生

見本

○写真(4cm×3cm)を貼付してください。
○写真は、正面脱帽上半身で３か月以内に撮影したもの。
○写真の裏面に氏名、志望コースを記入してください。

※印の欄は記入しないこと。

きりはなさないこと

令和８年度
小山工業高等専門学校専攻科

受　験　票

志望コース	受　験　番　号
コース	※
(ふりがな) 氏　　名	
生年月日	平成　　年　　月　　日　生

(写真を貼る欄)

○ 写真は写真票と同一のものを貼付してください。

※印の欄は記入しないこと。

受　験　心　得

選抜日時

推薦選抜
令和７年５月１４日（水）

面　　接	１３：３０～

学力選抜
令和７年６月１４日（土）

専門科目	９：３０～１１：００
数　　学	１１：２０～１２：２０
面　　接	１３：３０～

社会人特別選抜
令和７年１１月１５日（土）

小 論 文	１３：３０～１４：３０
面　　接	１５：００～

選抜場所
小山工業高等専門学校

・受験者は、開始２０分前までに集合してください。指定の時間に遅れた者は受験を認めないことがあります。
・本票を必ず携帯してください。本票を携帯しない者は受験できません。
・本票を忘れたとき又は紛失したときは直ちに検査本部に届け出て、指示を受けてください。

受験番号	※

令和　　年　　月　　日

推　　薦　　書

見本

小山工業高等専門学校長　殿

学校名

校長名　　印

下記の者は、次の理由により貴校の専攻科複合工学専攻　　コース

への推薦入学にふさわしい者として認め、推薦いたします。

記

氏　　名

生年月日　　平成　　年　　月　　日 生

推薦理由

受験番号	※

令和　　年　　月　　日

承　　諾　　書

見本

小山工業高等専門学校長　殿

企業等名

所属長名　　印

下記の者が貴校の専攻科入学者選抜検査に出願し、合格した場合には在職のまま入学することを承諾いたします。

記

出 願 者 氏 名

生　年　月　日　　平成　　年　　月　　日 生

所属部・課・係

振込受付証明書を入学検定料「振込受付証明書」貼付票に貼付してください。

※　各票の太線の中をご記入ください。
ご依頼人欄の氏名、住所、電話は、志願者本人の名前（フリガナ）、住所、電話番号を記入してください。
振込受付証明書、振込金受取書に金融機関の受領印があることを必ず確認してください。
この振込依頼書で銀行、信用金庫、農協などの金融機関窓口で納付できます。
（ＡＴＭ機は使用しないでください。振込受付証明書の受領印確認が出来ない恐れがあります。）

※　ただし、ゆうちょ銀行から納付する場合は、口座保有者のみ可能です。
利用の際は、「通帳と届け印」または「キャッシュカード」、及び、この振込依頼書をゆうちょ銀行へ持参のうえ、窓口でご相談ください。

切り取り

振込受付証明書

科目	検定料

令和　年　月　日			
金額	百万 千 円 ¥1650 0		
取引銀行	科目	口座番号	
栃木銀行小山支店	普通	6916022	
受取人	独立行政法人 国立高等専門学校機構本部		
ご依頼人 氏名			
ご依頼人 住所			

上記のとおり振込金として受付けました。

（取扱店）　　銀行
　　店

受領印

（高専提出用）

（取扱店→依頼人）

依頼人は切り取らないでください。

切り取り

振込金受取書

科目	検定料

令和　年　月　日			
金額	百万 千 円 ¥1650 0		
取引銀行	科目	口座番号	
栃木銀行小山支店	普通	6916022	
受取人	独立行政法人 国立高等専門学校機構本部		
ご依頼人	様		

上記のとおり振込金として受取りました。

（取扱店）　　銀行
　　店

受領印

（本人保管）

（取扱店→依頼人）

依頼人は切り取らないでください。

切り取り

各票の太線の中をご記入ください。

切り取り

振　込　依　頼　書

科目	検定料

ご依頼日	令和　年　月　日	電信扱	手数料	
受取人 取引銀行	科目	口座番号	金額	百万 千 円 ¥1650 0
栃木銀行小山支店	普通	6916022	預金種目	普通預金
受取人	（フリガナ）	コウセンキコウホンブ		
受取人	（おなまえ）	独立行政法人　国立高等専門学校機構本部		
受取人	（おところ）	〒193-0834 東京都八王子市東浅川町701－2　（電話）042-662-3166		
ご依頼人	（フリガナ）		（収納済印又は振替印）	
ご依頼人	（氏　名）			
ご依頼人	（住　所）〒 （電　話）			

（取扱店保管）

見本

入学検定料の納入方法について

志願者　各位

小山工業高等専門学校

別紙の振込用紙により、次の要領で納入してください。

【１】納入方法

ア　別紙の振込用紙を最寄りの金融機関に持参して納入してください。
　　銀行、信用金庫、農協、ゆうちょ銀行など全国の**金融機関窓口**で納入できます。(ATM は使用しないください。)

イ　振込受付証明書と振込金受取書は、金融機関の受領印があることを確認のうえ受け取ってください。

ウ　入学検定料「振込受付証明書」貼付票に振込受付証明書を貼付して出願してください。

エ　振込金受取書は、本人の控えとして、受験票が手元に届くまで大切に保管してください。

※　振込時の振込手数料は、振込人負担となります。

※　出願書類の受理後は、いかなる理由があっても振込済みの検定料は返還できません。

※　納付された検定料の返還請求ができるのは、次の場合になります。
　　・検定料を納付したが出願しなかった場合
　　・検定料を重複で納付した場合
　　上記の場合は、総務課財務係までご連絡ください。

【２】納入期間

推　薦　選　抜	令和７年　４月２１日（月）から　５月　２日（金）まで
学　力　選　抜	令和７年　５月２１日（水）から　５月３０日（金）まで
社会人特別選抜	令和７年１０月２０日（月）から１０月３０日（木）まで

【３】注意事項

金融機関の窓口にて納入してください。(ATM は使用しないください。)

※　不明な点等については、次の問い合わせ先にお尋ねください。

問い合わせ先
〒323-0806 栃木県小山市大字中久喜７７１
小山工業高等専門学校　総務課財務係
℡0285-20-2131

専 攻 科 入 学 案 内

１　専攻科の設置

平成１１年　４月　１日（設置）
平成２２年　４月　１日（改組）
平成３０年　４月　１日（コース変更）

２　専攻科の目的

本校専攻科は、５年間の高等専門学校における教育の基盤の上に立ち、より深く高度な専門知識及び技術を教授し、もって広く地域社会並びに産業界で活躍できる実践的かつ創造的な技術者の育成を目的とします。

３　専攻及び入学定員

複合工学専攻　　２０名

①機械工学コース

②電気電子創造工学コース

③物質工学コース

④建築学コース

４　修業年限及び修了要件

（１）修業年限　　２か年

（２）修了要件　　６２単位以上修得

５　専攻科の教育方針及び教育目標

機械系、電気・電子・情報系、科学を基礎とした材料工学・生物工学・化学工学等の分野、及び建築学の諸分野の基礎学力の養成と各専門性を深めつつ、技術の複合化・高度化の進む産業社会に柔軟に対応できる人材の養成を目指します。

具体的には1）工学理論のみでなく、実験・実習、実学に裏付けされた技術者の育成。2）専門分野を持ちながらも他分野も見通せる複眼的なものの見方や考え方ができるフレキシビリティのある技術者の育成である。そのため、専門分野の習熟と共に、共通科目を設け、複眼的で柔軟なものの見方の修得を目指します。

（１）機械工学コース

機械工学コースは、主として機械工学科を卒業した学生に対して、準学士課程で修得した専門性を活かし、技術の細分化、複合化に柔軟に対応できる知識を持ち、かつ環境にも配慮できる基礎と応用力の修得を目指します。

（２）電気電子創造工学コース

電気電子情報系学科を卒業した学生に対して、現代社会を支えるエネルギー・制御・情報に関する高度な知識・技術を広く教授する。技術の複合化が進む社会に専門性を活かして柔軟に対応できる高度技術の基礎・応用力と研究能力の修得を目指します。

（３）物質工学コース

主として化学や生物に関する物質工学系の学科を卒業した学生に対し、高専で修得した専門性を活かし、技術の複合化、ハイテク化の進む産業社会の構造に適応した知識・技術を広く教授する。材料工学、生物工学、化学工学に関する高度技術の基礎及び応用力の修得を目指します。また、情報等の幅広い知識も得られるよう配慮しています。

（４）建築学コース

主として建築学科を卒業した学生に対して、高専で修得した専門性を活かした応用力の育成を主眼とし、専門科目、特別研究等を通して高度で科学的な学習はもとより、地域に密着した堅実で現実的な技術及び知識の修得を目指します。また、情報などの幅広い知識も得られるよう配慮しています。

６　専攻科の教育課程及び修了に必要な単位

教育課程は、一般科目及び専門科目で構成されており、専攻科を修了するためには、一般科目及び専門科目を合わせて６２単位以上修得する必要があります。修了に必要な科目等の要件及び開設科目の学年別配当単位数は別表を参照してください。また、本校の技術者教育プログラムとして「複合工学系プログラム」に必要とされる単位を満たす必要があります。

なお、詳細については、入学後にコース主任、専攻科事務担当者等にお問い合わせください。

７　学士の学位の取得

高等専門学校卒業者で一定の要件を満たした場合、大学改革支援・学位授与機構の審査により学士の学位を取得できます。これは、大学学部卒業と同等の水準にあると認められたことで、本校の専攻科は、大学改革支援・学位授与機構の認定を受けております。

本校専攻科の学士修了要件を満たした方は、専攻科修了時に学士（工学）の学位を取得できます。

なお、本校以外から本校専攻科を受験される方及び本校卒業生についても、専攻科入学前の取得科目により、大学改革支援・学位授与機構が定める専攻に係わる授業科目・単位が不足するときには、それらを取得する必要があります。

［参考］大学改革支援・学位授与機構の学位取得のための申請に伴う審査手数料

32,000 円（令和７年度）

８　入学時に必要な経費　（金額は、改定される場合があります。）

費　　目	金　　額	備　　考
入 学 料	84,600円	
授 業 料	117,300円	年額234,600円

（１）在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

（２）学生会は、任意加入です。加入する場合は別途会費（年額3,000円）等が必要になります。

（３）入寮を希望し、許可された場合は寮費等の経費が必要になります。

後援会関係

費　　目	金　　額	備　　考
入 会 金	15,000円	本校の本科から引き続き専攻科に進学する者は納入不要
会　　費	25,200円	年額

９　入学料、授業料の免除

高等教育の修学支援新制度により、家計基準・学力基準等の条件を満たす場合、授業料等の減免と、日本学生支援機構の給付奨学金（原則返還不要）の支援を受けることができます。

また、学資負担者の死亡・風水害による被災等特別な事情がある場合には、入学料・授業料免除の対象となる場合があります。

１０　奨学金制度

日本学生支援機構の規定に基づき、学業・人物ともに優れ、かつ健康であって学費の支弁が困難と認められる者に対し、本人の申請に基づき、選考の上、日本大学支援機構から奨学金が貸与される制度があります。

１１　その他

その他ご不明な点は、次の問い合わせ先にお尋ねください。

〒323-0806　栃木県小山市大字中久喜 771
小山工業高等専門学校 学生課入試係
電話　０２８５－２０－２１４１
E-Mail　nyushi@oyama-ct.ac.jp

別表

授業科目			必修選択の別	単位数	備考
一般科目		応用英語　1	必修	2	
		応用英語　2	選択	2	
		日本語概説	選択	2	
		技術者倫理	必修	2	
	開設単位数			8	
	修得単位数			6	
専門科目	専門基礎科目	複素関数論	選択	2	
		応用解析学	選択	2	
		応用科学	選択	2	
		化学数学*	選択	2	*物質工学コース対象
	開設単位数			8	
	修得単位数			4	
	コース共通科目	システムデザイン	必修	2	
		産業財産権	必修	2	
		環境技術	必修	2	
		プロジェクトデザイン	必修	2	
		経営工学	必修	2	
		特別研究　Ⅰ	必修	6	１年 特別研究Ⅰが合格しない場合は、特別研究Ⅱを受講することができない。
		特別研究　Ⅱ	必修	8	２年
		実務研修　Ⅰ	必修	2	
		実務研修　Ⅱ	選択	2	
		実務研修　Ⅲ	選択	2	
		実務研修　Ⅳ	選択	2	
		実務研修　Ⅴ	選択	2	
		実務研修　Ⅵ	選択	2	
	開設単位数			36	
	修得単位数			26	
	以上合計修得単位数			36	
	機械工学コース	力学特論	選択	2	左記の単位の中から１７単位以上を修得するものとする。
		流体力学	選択	2	
		熱移動論	選択	2	
		エネルギー工学	選択	2	
		塑性力学	選択	2	
		応力解析特論	選択	2	
		生産システム工学	選択	2	
		シーケンス制御	選択	2	
		現代制御理論	選択	2	
		計算力学	選択	2	
		トライボロジー	選択	2	
		機械工学専攻演習	必修	2	
		機械工学専攻実験	必修	2	
		機械工学ゼミナール	必修	2	
		開設単位計		28	
	電気電子創造工学コース	材料物性特論	選択	2	左記の単位の中から１７単位以上を修得するものとする。
		電離気体力学	選択	2	
		高周波工学	選択	2	
		光応用工学論	選択	2	
		計測システム論	選択	2	
		電気エネルギー論	選択	2	
		システム制御論	選択	2	
		ロボット工学特論	選択	2	
		ディジタル通信	選択	2	
		画像情報工学	選択	2	
		情報セキュリティ論	選択	2	
		電気電子創造工学演習Ⅰ	選択	1	
		電気電子創造工学演習Ⅱ	選択	1	
		電気電子創造工学専攻実験	選択	2	
		開設単位計		26	

授　業　科　目			必修選択の別	単位数	備　　考
専門科目	物質工学コース	分子構造論	選択	2	左記の単位の中から１７単位以上を修得するものとする。
		機器分析特論	選択	2	
		複合材料	選択	2	
		腐食工学	選択	2	
		分離工学	選択	2	
		反応工学	選択	2	
		有機合成化学	選択	2	
		有機材料	選択	2	
		生物機能化学	選択	2	
		生物素材工学論	選択	2	
		触媒化学	選択	2	
		食品化学	選択	2	
		情報処理	必修	2	
		物質工学専攻実験	必修	2	
		物質工学ゼミナールⅠ	必修	2	
		物質工学ゼミナールⅡ	選択	1	
		開設単位計		31	
	建築学コース	まちづくり論	選択	2	左記の単位の中から１７単位以上を修得するものとする。
		文化財保存論	選択	2	
		地域施設計画論	選択	2	
		環境デザイン論	選択	2	
		設備システム論	選択	2	
		鋼・合成構造論	選択	2	
		建築耐震設計論	選択	2	
		建築構造解析学	選択	2	
		都市防災論	選択	2	
		バリアフリー・デザイン論	選択	2	
		鉄筋コンクリート構造論	選択	2	
		建築高機能材料工学	必修	2	
		地域設計Ⅰ	選択	2	
		地域設計Ⅱ	選択	2	
		建築ＣＡＤ・ＣＧ	選択	2	
		開設単位計		30	

技術者教育プログラムについて

本校では、本科４、５年および専攻科１、２年の４年間のカリキュラムで構成され、本校独自の明確な学習・教育到達目標を持った技術者教育プログラム「複合工学系（複合工学専攻）プログラム」を設け、平成16年度より実施、運用して来ています。そして、この技術者教育プログラムは日本技術者教育認定機構（Japan Accreditation Board of Engineering Education：ＪＡＢＥＥ）による認定審査を平成17年度に受けています。

ＪＡＢＥＥによって認定されると、本校の技術者教育プログラムが大学学部相当の工学教育の質や水準、学習・教育の量を持つことになり、プログラムの修了生は社会的にも、また国際的にも技術者として必要な工学基礎教育を修得したものとして保証されることになります。また、技術士の第一次試験が免除されることになります。

本校は、“技術者である前に人間であれ”を教育理念として開校以来人間教育に基づく実践的技術者の育成に努めてきました。近年、科学技術の高度化、教育の高学歴化、高度情報化社会、産業や経済の国際化、そして地域社会に開かれた学校など、本校を取り巻く社会環境は大きく変化し、時代や環境変化に即応できる技術者の育成が必要になっています。

本教育プログラムは、このような状況を考慮して、本校の伝統である豊かな人間性を育てる教育理念は堅持しつつ、高等専門学校の特長である早期専門導入教育に基づいた工学基礎及び専門基礎教育の系統的で継続的な教育制度を生かし、地域社会や産業界の中だけでなく、21世紀の国際社会で活躍貢献できる個性と人間性豊かなより高度の実践的能力を備えた技術者を育成することを目指しています。これらのことは本校の教育理念とともに、育成する人財像、行動目標並びにディプロマ・カリキュラム・アドミッションポリシーの三つのポリシーにも包含されており、ＪＡＢＥＥプログラムとしてもこれらの流れを汲んだ学習・教育到達目標、技術者像を掲げています。

〇育成する人材像

教育理念「技術者である前に人間であれ」に基づき、豊かな人間性を有し、高度な技術力と創意工夫によって社会の発展に貢献する「今を見つめ未来を創る技術者」の育成を目指す。

〇学習・教育到達目標

１．準学士課程において培った知識に基づき、より深く高度な自然科学系およびリベラルアーツに関する知識について説明することができ、論理的に結論を導くことができる。

２．準学士課程において培った工学、技術の知識に基づき、より深く高度な工学、技術の専門知識を身に付け、応用的な事例や課題に深く高度な専門知識を用いることができ、専門分野において解析的に考察し評価することができる。

３．人間・文化・社会を理解し、倫理観・責任感を持ち、自分の意見を論理的に表現できるとともに他者の意見を的確に理解し、周囲の人々と尊重しあいながらコミュニケーションを取ることで、工学的プロセスをデザインすることができる。

４．生涯にわたって新たな知識・技術を自ら学ぶ自発的学習ができ、知識・技術を新たな社会へつなぐための創造的活動により、社会に対して提案ができる。

本技術者教育プログラムは上記の技術者を育成するために、本科４、５年および専攻科１、２年の４年間のカリキュラムで構成されています。そのため、専攻科に入学したすべての学生はプログラムの履修対象者となります。プログラムの履修登録をしないで在学することはできません。

１．本教育プログラムを修了するには、（１）～（４）のすべての要件を満たす必要があります。

（１）学士の学位を取得すること。

（２）専攻科において６２単位以上修得し、専攻科を修了すること。

（３）本教育プログラムでの履修科目から１２４単位以上修得すること。

（４）本教育プログラムの学習・教育到達目標で定める４つ全ての到達目標を達成していること。なお、この４つの学習・教育到達目標を達成するためには、別に規定する目標達成度評価方法及び評価基準を満たすことが必要となります。

２．本校以外の高等専門学校・大学・短期大学、専門学校等から専攻科に入学した学生については、他の教育機関で修得した履修授業科目等を本校４・５学年の履修授業科目へ読み替えるものとします。

読み替えは、ＪＡＢＥＥ専門委員会の議を経て本教育プログラムの単位として認定されます。

【参考】

〇技術士・技術士補とは

技術士制度は、技術的専門知識及び応用能力と豊富な経験を有する優れた技術者の育成を図るための国による技術者の資格認定制度です。

a）技術士は、

技術士法に基づいて行われる国家試験（技術士第二次試験）に合格し、登録した者だけに与えられる称号です。国は、この称号を与えることにより、その人が科学技術に関する高度な応用能力を備えていることを認定することになります。従って、技術士は、科学技術の応用面にわたる技術者にとって最も権威ある国家資格と言えます。

b）技術士補は、

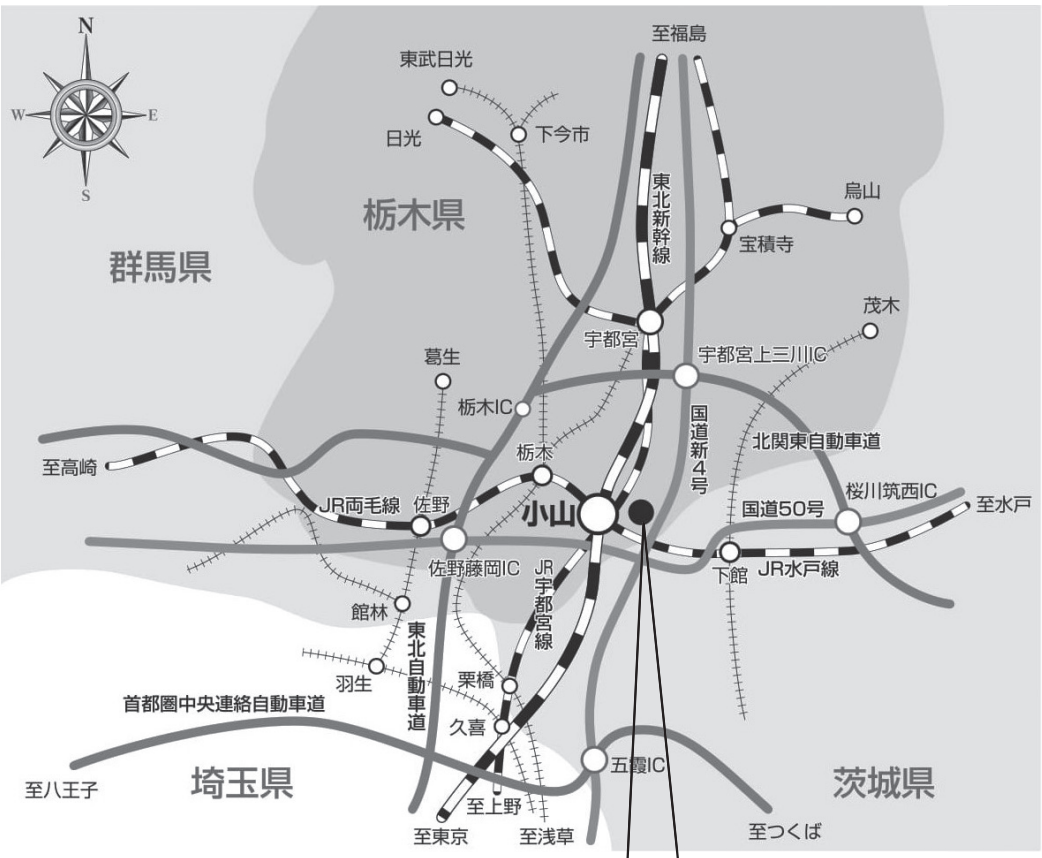
技術士法に基づく国家試験（技術士第一次試験）に合格し、登録した者だけに与えられる称号です。

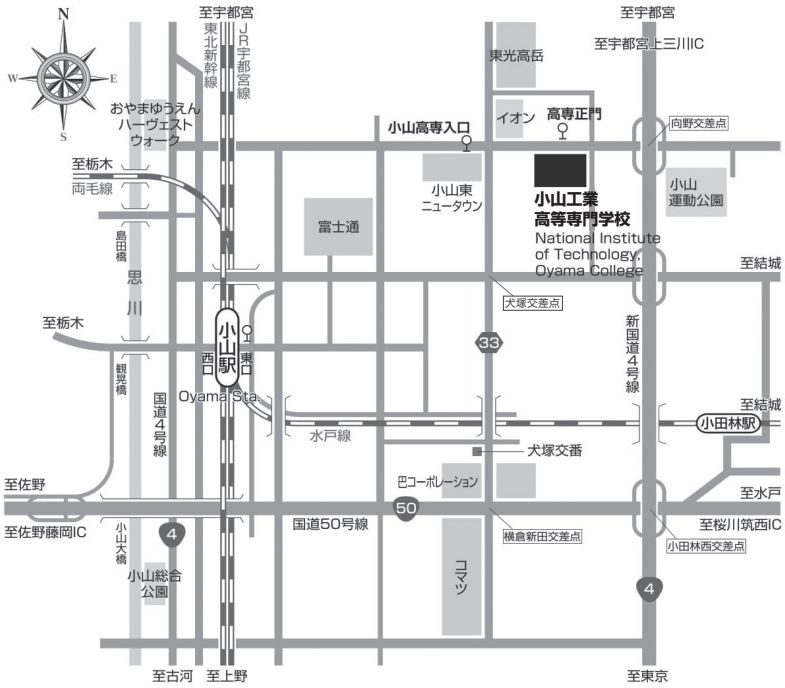
技術士補は、技術士となるのに必要な技術を習得するため、技術士を補助することになっています。

この技能修得後、技術士第二次試験を受験できます。

本校のＪＡＢＥＥの認定を受けて修了した者は、この資格を有しています。

学校所在地略図





●JR小山駅（東口）から約5km、JR小田林駅から約4km

●バス利用の場合は、JR小山駅改札より東口へ、
小山市コミュニティバス（城東中久喜線または高岳線）
「小山駅東口」乗車、「高専正門」下車または「小山高専入口」下車後、徒歩5分
（バス所要時間　約20分）